【No.114】 FP動注療法（肝臓癌）

病名　　ID　　－　　氏名　　（　才）（男・女）　※化学療法承諾書要作成

PS　0・1・2・3・4

科　　主治医　　治療ライン　　次治療　　服薬指導　依頼する・不要

HBs抗原（+）→HBV DNA（　　）,HBs抗原（-）→HBc抗体（　　）HBs抗体（　　）　　確認医（科長）

禁忌（アイエーコール添付文書より抜粋）

・重篤な腎障害のある患者

重要な基本的注意（アイエーコール添付文書より抜粋）

・投与量の増加に伴い聴器障害の発現頻度が高くなり、特に総投与量が300mg/m²を超えるとその傾向が顕著となる事が知られているので、十分な観察を行い投与すること。

※逸脱例に使用する場合は、患者の同意がある旨2号紙に記載すること。（記載確認後ミキシング開始となります。）

コース	day1	day4	指示	受領

指示内容	点滴時間	計算式 催吐リスク	実施日	day1	2	3	4	・・・	27	28
動注A） ① リザーバーから 生食20mlシリンジ（穿刺）			指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
② 生食45ml + 動注用アイエーコール50mg 1V （45ml/h）	60分	50mg/body	指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
③ 生食6ml + フルオロウラシル 1250mg + ヘパリンNa 5ml 1V （0.5ml/h）	72時間	1250mg/body	指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
④ ヘパリンシリンジロック or 生食シリンジ20ml			指示				●			
			受領							
			入力							
			実施							
静注B） 動注A穿刺30分前に開始する ラクテック500ml 2B （200ml/h）	150分×2		指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
側管） ① 生食100ml + グラニセトロン1A + プロイメンド 1V（動注前）	30分		指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
側管） ② 生食50ml	全開		指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							

4週毎

太枠内は原本に記入せず、カラーコピーして使用すること。

在庫確保のため、原則として投与2日前（休日を挟む場合は休前日）までに提出すること。　　改定日R3.6.29